

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年4月4日 (2013.4.4)

【公開番号】特開2012-110067(P2012-110067A)

【公開日】平成24年6月7日 (2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2012-58647(P2012-58647)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月28日 (2012.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

番組をバッファリングする方法であって、
 前記方法は、
 第一のチャンネルから第一の番組を表示することと、
 前記第一の番組をバッファリングすることと、
 第二のチャンネルに同調させるユーザ要求を受信することに応答して、第二のチャンネルから第二の番組を表示することと、
 前記第二のチャンネルに同調させるユーザ要求を受信することに応答して、前記第二の番組をバッファリングすることと
 を含み、
 前記第一の番組のバッファリングと、前記第二の番組のバッファリングとは並列して起こる、方法。

【請求項 2】

前記第一の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
 第三のチャンネルに同調させることと、
 前記第三のチャンネル上の第三の番組に対する第二のバッファを作成することと、
 前記第三の番組が前記第一の番組であることを決定することと、
 前記第二のバッファを前記第一のバッファと組み合わせることと
 をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第一の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
 第三のチャンネルに同調させることと、
 前記第三のチャンネル上の第三の番組が前記第一の番組であることを決定することと、

前記第三の番組を前記第一のバッファにバッファリングすることと
をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第一の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
バッファサイズを前記第一のバッファに割り当てることをさらに含み、前記バッファサイズは、前記第一の番組の残り時間の量に基づいて決定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第一の番組をバッファリングするストレートバッファを作成することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第一の番組をバッファリングするためのパーソナルビデオレコーダ上のストレージスペースを割り当てることをさらに含み、前記パーソナルビデオレコーダは、ユーザ装置上に含まれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第一の番組をバッファリングするための遠隔サーバ上のストレージスペースを割り当てることをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第二の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
前記第二の番組を録画として保存するユーザ入力を受信することと、
前記ユーザ入力を受信することに応答して、前記第一のバッファからの前記番組のセグメントを、前記第二の番組の録画の一部として保存することと
をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

第二のバッファが、前記第二の番組に同調させる前記ユーザ要求を受信することに応答して作成される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

番組をバッファリングするシステムであって、
前記システムは、
第一のチャンネルから第一の番組を表示する手段と、
前記第一の番組をバッファリングする手段と、
第二のチャンネルに同調させるユーザ要求を受信することに応答して、第二のチャンネルから第二の番組を表示する手段と、
前記第二のチャンネルに同調させるユーザ要求を受信することに応答して、前記第二の番組をバッファリングする手段と
を含み、
前記第一の番組をバッファリングする手段と、前記第二の番組をバッファリングする手段とは並列して起こる、システム。

【請求項 11】

前記第一の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
第三のチャンネルに同調させる手段と、
前記第三のチャンネル上の第三の番組に対する第二のバッファを作成する手段と、
前記第三の番組が前記第一の番組であることを決定する手段と、
前記第二のバッファを前記第一のバッファと組み合わせる手段と
をさらに含む、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記第一の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
第三のチャンネルに同調させる手段と、
前記第三のチャンネル上の第三の番組が前記第一の番組であることを決定する手段と、
前記第三の番組を前記第一のバッファにバッファリングする手段と
をさらに含む、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記第一の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
バッファサイズを前記第一のバッファに割り当てる手段をさらに含み、前記バッファサイズは、前記第一の番組の残り時間の量に基づいて決定される、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記第一の番組をバッファリングするストレートバッファを作成する手段をさらに含む、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記第一の番組をバッファリングするためのパーソナルビデオレコーダ上のストレージスペースを割り当てる手段をさらに含み、前記パーソナルビデオレコーダは、ユーザ装置上に含まれる、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記第一の番組をバッファリングするための遠隔サーバ上のストレージスペースを割り当てる手段をさらに含む、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記第二の番組が第一のバッファにバッファリングされ、
前記第二の番組を録画として保存するユーザ入力を受信する手段と、
前記ユーザ入力を受信することに応答して、前記第一のバッファからの前記番組のセグメントを、前記第二の番組の録画の一部として保存する手段と
をさらに含む、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 18】

第二のバッファが、前記第二の番組に同調させるユーザ要求を受信することに応答して作成される、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 19】

ユーザ装置を用いて番組コンテンツをバッファリングする方法であって、
前記方法は、
前記ユーザ装置を用いて第一の番組を受信することと、
前記第一の番組が第一のタイプであることを決定することと、
前記第一の番組が前記第一のタイプであることを決定することに応答して、前記第一の番組をバッファリングすることと
を含む、方法。

【請求項 20】

前記第一の番組をバッファリングすることは、
第一の品質および第一のサイズのうちの少なくとも一つを第一のバッファに割り当てることを含み、前記第一の品質および前記第一のサイズのうちの前記一つは、前記第一のタイプに関連する、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

第二の番組を受信することと、
前記第二の番組が第二のタイプであることを決定することであって、前記第二のタイプは前記第一のタイプとは異なる、ことと、
前記第二の番組が前記第二のタイプであることを決定することに応答して、前記第二の番組をバッファリングすることと
をさらに含む、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 22】

前記第二の番組をバッファリングすることは、
第二の品質および第二のサイズのうちの一つを前記第二の番組に対するバッファに割り当てることを含み、前記第二の品質および前記第二のサイズのうちの前記一つは、前記第二のタイプに関連し、
前記第二の品質および前記第二のサイズのうちの前記一つは、前記第一の番組に対する

バッファに関連する第一の品質および第一のサイズのうちの一つとは異なる、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記第一のタイプは、番組カテゴリおよびジャンルのうちの1つを含む、請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 4】

特定のバッファリング構成を前記第一のタイプに関連付けるユーザ要求を受信することをさらに含み、前記第一の番組は、前記特定のバッファリング構成を用いてバッファリングされる、請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 5】

前記ユーザ装置を用いて第二の番組を受信することと、
前記第二の番組が前記第一のタイプであるかどうかを決定することと、
第三の番組が前記第一のタイプであるかどうかに基づいて、前記第二の番組をバッファリングすることと
をさらに含む、請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 6】

デフォルトバッファリング構成を確立することと、
前記第三の番組が前記第一のタイプではないことを決定することに応答して、前記デフォルトバッファリング構成を用いて前記第二の番組をバッファリングすることと
をさらに含む、請求項 2 5 に記載の方法。

【請求項 2 7】

前記第二の番組が前記第一のタイプであることを決定することに応答して、前記第一の番組をバッファリングするために用いられたバッファリング構成と同一のバッファリング構成を用いてバッファを構成することをさらに含む、請求項 2 5 に記載の方法。

【請求項 2 8】

ユーザ装置を用いて番組コンテンツをバッファリングするシステムであって、
前記システムは、
前記ユーザ装置を用いて第一の番組を受信する手段と、
前記第一の番組が第一のタイプであることを決定する手段と、
前記第一の番組が前記第一のタイプであることを決定することに応答して、前記第一の番組をバッファリングする手段と
を含む、システム。

【請求項 2 9】

前記第一の番組をバッファリングする手段は、
第一の品質および第一のサイズのうちの少なくとも一つを第一のバッファに割り当てる手段を含み、前記第一の品質および前記第一のサイズのうちの前記一つは、前記第一のタイプに関連する、請求項 2 8 に記載のシステム。

【請求項 3 0】

第二の番組を受信する手段と、
前記第二の番組が第二のタイプであることを決定する手段であって、前記第二のタイプは前記第一のタイプとは異なる、手段と、
前記第二の番組が前記第二のタイプであることを決定することに応答して、前記第二の番組をバッファリングする手段と
をさらに含む、請求項 2 8 に記載のシステム。

【請求項 3 1】

前記第二の番組をバッファリングする手段は、
第二の品質および第二のサイズのうちの一つを前記第二の番組に対するバッファに割り当てる手段を含み、
前記第二の品質および前記第二のサイズのうちの前記一つは、前記第二のタイプに関連し、

前記第二の品質および前記第二のサイズのうちの前記一つは、前記第一の番組に対するバッファに関連する第一の品質および第一のサイズのうちの一つとは異なる、請求項 28 に記載のシステム。

【請求項 32】

前記第一のタイプは、番組カテゴリおよびジャンルのうちの1つを含む、請求項 28 に記載のシステム。

【請求項 33】

特定のバッファリング構成を前記第一のタイプに関連付けるユーザ要求を受信する手段をさらに含み、前記第一の番組は、前記特定のバッファリング構成を用いてバッファリングされる、請求項 28 に記載のシステム。

【請求項 34】

前記ユーザ装置を用いて第二の番組を受信する手段と、
前記第二の番組が前記第一のタイプであるかどうかを決定する手段と、
第三の番組が前記第一のタイプであるかどうかに基づいて、前記第二の番組をバッファリングする手段と
をさらに含む、請求項 28 に記載のシステム。

【請求項 35】

デフォルトバッファリング構成を確立する手段と、
前記第三の番組が前記第一のタイプではないことを決定することに応答して、前記デフォルトバッファリング構成を用いて前記第二の番組をバッファリングする手段と
をさらに含む、請求項 28 に記載のシステム。

【請求項 36】

前記第二の番組が前記第一のタイプであることを決定することに応答して、前記第一の番組をバッファリングするために用いられたバッファリング構成と同一のバッファリング構成を用いてバッファを構成する手段をさらに含む、請求項 28 に記載のシステム。

【請求項 37】

前記第一の番組が前記第一のタイプであることを決定することに応答して第一のバッファを構成する手段をさらに含み、前記第一の番組が前記第一のバッファにバッファリングされる、請求項 28 に記載のシステム。

【請求項 38】

前記第一の番組が前記第一のタイプであることを決定することに応答して第一のバッファを構成することをさらに含み、前記第一の番組が前記第一のバッファにバッファリングされる、請求項 19 に記載の方法。